

令和3年度入学者選抜方法の主な変更点

愛媛大学では、「学力の三要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を踏まえ、アドミッション・ポリシーに沿った多面的・総合的な入学者選抜を実施します。

1 入試区分の名称変更

入試区分を以下のとおり変更します。なお、総合型選抜及び学校推薦型選抜については、大学入学共通テストを課さない入試を「総合型選抜Ⅰ」、「学校推薦型選抜Ⅰ」、大学入学共通テストを課す入試を「総合型選抜Ⅱ」、「学校推薦型選抜Ⅱ」とします。

(現 行)		(変更後)
一般入試		一般選抜
アドミッション・オフィス入試		総合型選抜
推薦入試		学校推薦型選抜
社会人入試		社会人選抜
私費外国人留学生入試		私費外国人留学生選抜

2 「学力の三要素」を踏まえた多面的・総合的な評価

(1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

大学入学共通テスト及び個別学力検査等により選抜します。個別学力検査等では、学部が指定する次の

①～③のいずれかの方法を含めることで、学力の三要素を踏まえた多面的・総合的な選抜を行います。

- ① 「調査書」
- ② 「面接」（「調査書」を参考とする。）
- ③ 「調査書」と本人が記載する「活動報告書」等の書類

①～③は、いずれの場合も点数化します。

具体的な評価方法は、以下のとおりとします。

- ① 「調査書」を単独で評価します。

この場合は、原則として、次の方針とします。

- ・「調査書」の配点割合は、総得点の5%程度から10%程度とします。
- ・「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」等を評価します。

- ② 「調査書」は「面接」等を含めて評価します。

- ③ 「調査書」と本人が記載する「活動報告書」等の書類で評価します。

(2) 総合型選抜及び学校推薦型選抜

大学入学共通テストを課す選抜及び同テストを課さない選抜のいずれの場合であっても、「調査書」及び「活動報告書」の評価を行います。さらに、選抜の種類に応じて、「調査書」及び「活動報告書」以外の書類や他の方法を組み合わせ、より多面的・総合的な選抜を行います。

(3) 調査書が提出できない場合の取扱い

既卒者等で「調査書」が提出できない場合は、志願者本人が作成する11ページの「活動調書」を作成してください。詳細については、「学生募集要項」で公表します。

(4) 活動報告書の活用

活動報告書には、12ページに示すA「意欲的に取り組んだ活動」、B「課題研究等」、C「資格・検定等」の3種類の様式があります。学部によって課している様式の種類や、記入要領が異なります。活動報告書の記入要領等については、「学生募集要項」で公表します。

活動報告書の様式や「意欲的に取り組んだ活動」の例示等は、以下のとおりです。

学部	活用する様式	「意欲的に取り組んだ活動」の例示	活動報告書を課す選抜
法文学部	Aは必須 Cは任意	中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。	総合型選抜Ⅱ 学校推薦型選抜Ⅰ
教育学部	A, B, Cのうち1種類以上	中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動（吹奏楽・合唱・ピアノ独奏・造形活動・展覧会発表など）、趣味・特技に関する活動などが該当します。	総合型選抜Ⅱ 学校推薦型選抜Ⅱ 一般選抜（前期） 一般選抜（後期）
社会共創学部	A, B, Cのうち1種類以上	中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、伝統芸能、趣味・特技に関する活動などが該当します。	総合型選抜Ⅰ 総合型選抜Ⅱ
理学部	Aは必須 Cは任意	中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。	学校推薦型選抜Ⅰ 学校推薦型選抜Ⅱ
医学部	Aのみ	中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動、資格・検定の取得などが該当します。	総合型選抜Ⅱ 学校推薦型選抜Ⅱ
工学部	Aは必須 Cは任意	中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。	学校推薦型選抜Ⅰ 学校推薦型選抜Ⅱ

農学部	Aは必須 Cは任意	中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動、資格・検定の取得などが該当します。	総合型選抜Ⅱ 学校推薦型選抜Ⅰ
-----	--------------	---	--------------------

(注) 「課題研究等」とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。

愛媛大学の「活動報告書」は四国国立5大学の共通様式をベースにしています。いつからでも下記のサイトを利用することにより、活動報告書の準備ができます。

四国国立5大学進学支援サイト (URL: <https://portal.postanet.jp/shikoku/>)

(5) 推薦書の推薦理由等

高等学校長が作成する「推薦書」の「推薦理由等」の記載方法は、以下のとおりです。「推薦書」の様式は、11ページを参照してください。

なお、「推薦書」の記入要領等については、「学生募集要項」で公表します。

学 部	「推薦理由等」の記載方法
法文学部 教育学部 理学部 工学部 農学部	推薦をする理由の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的な事実に基づいて記述してください。 (1) 志願者を推薦する理由を、志願者の学習及び活動の成果を踏まえ、本学部のアドミッション・ポリシーを参照して記載してください。その際、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3つの観点を必ず含むようにしてください。 (2) 今後努力を要する点や入学後に特に配慮を要する事項があれば記入してください。 (3) その他、特記することがあれば記入してください。 (注) 各学科等の内容については、「愛媛大学ガイドブック」及び「学部案内」を参照してください。
医学部	推薦をする理由の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的な事実に基づいて記述してください。 (1) 志願者を推薦する理由を、志願者の学習及び活動の成果を踏まえ、本学部のアドミッション・ポリシーを参照して記載してください。その際、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価についての記載を必ず含むようにしてください。 (2) 今後努力を要する点や入学後に特に配慮を要する事項があれば記入してください。 (3) 医学科学学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）及び看護学科学学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）の志願者に関しては地域医療に対する適性等について記入してください。 (4) その他、特記することがあれば記入してください。 (注) 各学科の内容については、「愛媛大学ガイドブック」及び「医学部看護学科案内」を参照してください。

(注) 社会共創学部では、学校推薦型選抜を実施していません。

3 大学入学共通テスト

(1) 教科・科目数

「一般選抜」の第一次試験として大学入学共通テストを課し、教科・科目数は、原則として5教科7科目とします。

「総合型選抜Ⅱ」及び「学校推薦型選抜Ⅱ」においても、大学入学共通テストを課しますが、教科・科目数は、5教科7科目を原則としません。

(2) 『英語』（リーディング、リスニング）の配点割合

大学入学共通テストの『英語』を受験する者は、全学部でリーディングとリスニングをともに課します。配点割合は、以下のとおりとします。学部ごとの詳細な配点については、62ページの注意4の表のとおりです。

【配点割合】

① 全学部（医学部医学科を除く）

リーディングとリスニングの配点比を「4：1」とします。たとえば『英語』の配点（満点）が200点の場合、リーディングとリスニングの配点は、それぞれ160点と40点になります。ただし、学部・学科等により配点合計が異なります。

② 医学部医学科

リーディングとリスニングの配点比を「9：1」とします。『英語』の配点（満点）が100点の場合、リーディングとリスニングの配点は、それぞれ90点と10点になります。200点の場合は、180点と20点になります。

③ リスニングを免除された受験者

リーディングの得点を学部・学科等の『英語』の配点（満点）に換算して利用します。

4 英語認定試験

大学入試センター「大学入試英語成績提供システム」の導入が見送られたことから、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜では、英語認定試験^(注)は活用しません。

なお、「活動報告書」の作成に当たっては、英語資格・検定試験やその他各種資格・検定試験の結果等を記載することは差し支えありません。

（注） 英語認定試験とは、大学入試センター「大学入試英語成績提供システム」を通じて大学に提供されるとされていた英語資格・検定試験です。

5 各学部における主な変更内容について

法文学部

(1) 出願書類（調査書、活動報告書等）の活用方法の変更

- ① 一般選抜（前期・後期）の個別学力検査等の出題教科・科目等に、新たに「出願書類（調査書）」を加え、「出願書類（調査書）」を点数化します。
- ② 総合型選抜Ⅱ（昼間主・夜間主）の個別学力検査等の出題教科・科目等の「出願書類（志望理由書、調査書）」に、新たに「出願書類（活動報告書）」を加え、「出願書類（志望理由書、調査書、活動報告書）」を点数化します。
- ③ 学校推薦型選抜Ⅰ（昼間主・夜間主）の個別学力検査等の出題教科・科目等の「出願書類（推薦書、調査書）」に、新たに「出願書類（活動報告書）」を加え、「出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）」を点数化します。

(1) 出題教科・科目等の変更及び出願書類（調査書、活動報告書）の活用方法の変更

一般選抜（前期日程）において、初等教育コース及び中等教育コースの個別学力検査等の出題教科・科目等の「グループディスカッション」は実施しません。これにより、出願書類（調査書、活動報告書）は、グループディスカッションに含めて評価することができないため、出願書類（調査書、活動報告書）を点数化します。

教育学部

~~令和2年度入学者選抜からの変更はありません。~~

社会共創学部

(1) 募集人員の変更

① 産業イノベーション学科

一般選抜（前期日程）：13人から12人に変更

総合型選抜Ⅰ：12人から13人に変更

② 地域資源マネジメント学科

一般選抜（前期日程）

文化資源マネジメントコース：8人から7人に変更

スポーツ健康マネジメントコース：12人から10人に変更

総合型選抜Ⅰ

農山漁村マネジメントコース	25人	から	10人	に変更
文化資源マネジメントコース			8人	
スポーツ健康マネジメントコース			10人	

【変更前】

学部	学科・コース		入学 定員 (人)	合計 (人)	募集人員（人）			
					一般入試		AO入試	
					前期	後期	AOⅠ	AOⅡ
社会共創学部	産業マネジメント学科		70	180	48	－	5	17
	産業イノベーション学科		25		<u>13</u>	－	<u>12</u>	－
	環境デザイン学科		35		25	－	10	－
	地域資源 マネジ メント学科	農山漁村マネジメントコース	50		5	－	25	－
		文化資源マネジメントコース			<u>8</u>	－		－
		スポーツ健康マネジメントコース			<u>12</u>	－		－
	合計					111	－	52



【変更後】

学部	学科・コース		入学 定員 (人)	合計 (人)	募集人員（人）			
					一般選抜		総合型選抜	
					前期	後期	総合型Ⅰ	総合型Ⅱ
社会共創学部	産業マネジメント学科		70	180	48	－	5	17 ^(注)
	産業イノベーション学科		25		12	－	13	－
	環境デザイン学科		35		25	－	10	－
	地域資源 マネジメ ント学科	農山漁村マネジメントコース	50		5	－	10	－
		文化資源マネジメントコース			7	－	8	－
		スポーツ健康マネジメントコース			10	－	10	－
合計					107	－	56	17 ^(注)

(注) 産業マネジメント学科の総合型選抜Ⅱの出願要件及び募集人員の詳細は次頁(2)の表のとおりとします。

(2) 産業マネジメント学科の総合型選抜Ⅱの出願要件及び募集人員の変更

【変更前】

学部	学科	出願要件	募集人員 (人)
社会共創学部	産業マネジメント学科	AOⅡ A (普通科又は理数に関する学科等対象)	5
		AOⅡ B (専門教育を主とする学科対象)	7
		AOⅡ C (総合学科対象)	5
	合計		17



【変更後】

学科	出願要件	募集人員 (人)
産業マネジメント学科	総合型選抜Ⅱ A (普通科, 理数に関する学科等 ^(注) 又は総合学科対象)	10
	総合型選抜Ⅱ B (専門教育を主とする学科対象)	7
	合計	17

(注) 「理数に関する学科等」: 高等学校設置基準第6条第2項第9号の「理数に関する学科」及び「外国語に関する学科」(同第13号), 「国際関係に関する学科」(同第14号)などを指す。

(3) 出題教科・科目等の変更

① 環境デザイン学科

一般選抜(前期)の個別学力検査等の出題教科・科目等は, 「外国語(コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ)」を「総合問題」に変更します。

② 地域資源マネジメント学科農山漁村マネジメントコース

一般選抜(前期)の出題教科・科目数は, 「3教科3科目」(大学入試センター試験)から「5教科5科目」(大学入学共通テスト)に変更します。

(4) 出願書類(調査書, 活動報告書等)の活用方法の変更

① 産業マネジメント学科

一般選抜(前期)の個別学力検査等の出題教科・科目等に, 新たに「出願書類(調査書)」を加え, 「出願書類(調査書)」を点数化します。

② 産業イノベーション学科

一般選抜(前期)の個別学力検査等の出題教科・科目等の「面接」では, 「出願書類(調査書)」を含めて評価します。

③ 環境デザイン学科

一般選抜(前期)の個別学力検査等の出題教科・科目等の「面接」では, 「出願書類(調査書)」を含めて評価します。

④ 地域資源マネジメント学科(農山漁村マネジメントコース, 文化資源マネジメントコース, スポーツ健康マネジメントコース)

一般選抜(前期)の個別学力検査等の出題教科・科目等の「面接」では, 「出願書類(調査書)」を含めて評価します。

理学部

(1) 出願書類(調査書, 活動報告書等)の活用方法の変更

学校推薦型選抜Ⅰ, 学校推薦型選抜Ⅱの個別学力検査等の出題教科・科目等では, 「出願書類(推薦書, 調査書)」に, 新たに「出願書類(活動報告書)」を加え, 「出願書類(推薦書, 調査書, 活動報告書)」を点数化します。

医学部

(1) 募集人員の変更

① 医学科

一般選抜（前期日程）：40人から55人に変更

一般選抜（後期日程）：募集を廃止

総合型選抜Ⅱ：募集人員を10人として新設

【変更前】

学部	学科	入学 定員 (人)	募集人員（人）				
			一般入試		推薦入試		AO入試
			前期	後期	推薦入試Ⅱ		
医学部	医学科	110	<u>40</u>	<u>25</u>	A（学校推薦）	B（地域特別枠推薦）	－
					25	20	
合計			40	25	45		－



【変更後】

学部	学科	入学 定員 (人)	募集人員（人）				
			一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜
			前期	後期	学校推薦型Ⅱ		総合型Ⅱ
医学部	医学科	110	55	－	A（学校推薦）	B（地域特別枠推薦）	10
					25	20	
合計			55	－	45		10

② 看護学科

学校推薦型選抜Ⅱ〔募集人員：24人〕にA（学校推薦〔募集人員：18人〕）、B（地域特別枠推薦〔募集人員：6人〕）の別を新設

【変更前】

学部	学科	入学 定員 (人)	募集人員（人）			
			一般入試		推薦入試	社会人入試
			前期	後期	推薦入試Ⅱ	
医学部	看護学科	60	33	－	<u>24</u>	3
合計			33	－	24	3



【変更後】

学部	学科	入学 定員 (人)	募集人員（人）				
			一般選抜		学校推薦型選抜		社会人選抜
			前期	後期	学校推薦型Ⅱ		
医学部	看護学科	60	33	－	A（学校推薦）	B（地域特別枠推薦）	3
					<u>18</u>	<u>6</u>	
合計			33	－	24		3

(2) 出願資格（新設）

① 医学部医学科：総合型選抜Ⅱの出願要件（新設）

- ・ 愛媛県内の医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること
- ・ 研究医の不足や臨床医の偏在に強い関心を持ち、その是正に意欲を持って取り組むことを通して、愛媛県内において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること
- ・ 合格した場合は入学を確約できること
- ・ 卒業後に愛媛県内の医育・医療機関に勤務することを確約できるもので、以下のいずれかに該当する者
 - (1) 愛媛県内の高等学校を平成30年3月以降に卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者
 - (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月以降に修了した者又は令和3年3月修了見込みの者

② 医学部看護学科：学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）の出願要件（新設）

- ・ 在籍する高等学校、あるいは出身学校の調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上で人物が優秀であること
- ・ 臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できること
- ・ 愛媛県内の中山間地域や離島などの保健・医療に貢献する強い意志を持っており、誓約書を提出できること
- ・ 入学後は地域における実習プログラムを受講できること
- ・ 以上の全ての要件に該当する者で、将来、愛媛県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）としてその業務に従事しようとする者のうち、以下のいずれかに該当するもの
 - (1) 愛媛県内の高等学校を令和2年3月以降に卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者
 - (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月以降に修了した者又は令和3年3月修了見込みの者

(3) 出題教科・科目等の変更内容

① 医学科

- ・ 一般選抜（前期）の個別学力検査等の出題教科・科目等のうち、「外国語（コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ）」を「総合問題」^(注)に変更します。
- ・ 総合型選抜Ⅱの大学入学共通テストは、「5教科7科目」を課します。個別学力検査等の出題教科・科目等は、「総合問題」、「面接」とします。

（注）医学科「総合問題」の出題内容について

選抜方法	出題内容
一般選抜 （前期日程）	英文の文章を読んだ上で、その内容に関連した事項について日本語で記述させる問題や自らの考えを英語や日本語で記述させる問題を出题する。
総合型選抜Ⅱ	和文や英文の内容を的確に把握した上で論述、解答させることにより、読解力、論述力を評価する問題を出题する。 また、数学や理科の基礎的な知識を基にその内容及びそれに関連した事項についての知識、計算力、記述力を評価する問題を出题する。
学校推薦型選抜Ⅱ	和文や英文の内容を的確に把握した上で論述、解答させることにより、読解力、論述力を評価する問題を出题する。 また、数学や理科の基礎的な知識を基にその内容及びそれに関連した事項についての知識、計算力、記述力を評価する問題を出题する。

② 看護学科

- ・ 一般選抜（前期）の出題教科・科目数は、「5教科5科目」（大学入試センター試験）から「5教科又は6教科7科目」（大学入学共通テスト）に変更します。
- ・ 学校推薦型選抜ⅡA（学校推薦）の大学入学共通テストは、「3教科3科目」を課します。個別学力検査等の出題教科・科目等は、「小論文」、「面接」、~~「グループディスカッション」~~を課します。
- ・ 学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）の大学入学共通テストは、「3教科3科目」を課します。個別学力検査等の出題教科・科目等は、「小論文」、「面接」を課します。

(4) 出願書類（調査書、活動報告書等）の活用方法の変更

① 医学科

- ・ 総合型選抜Ⅱの個別学力検査等の出題教科・科目等の「面接」では、「出願書類（調査書、活動報告書）」を含めて評価します。
- ・ 学校推薦型選抜ⅡA（学校推薦）の「面接」では、新たに「出願書類（活動報告書）」を加え、「出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）」を含めて評価します。
- ・ 学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）の「面接」では、新たに「出願書類（活動報告書）」を加え、「出願書類（推薦書、調査書、自己推薦書、活動報告書）」を含めて評価します。

② 看護学科

- ・ 学校推薦型選抜ⅡA（学校推薦）の個別学力検査等の「面接」では、新たに「出願書類（活動報告書）」を加え、「出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）」を含めて評価します。
- ・ 学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）の個別学力検査等の「面接」では、「出願書類（推薦書、調査書、自己推薦書、活動報告書）」を含めて評価します。

工学部

(1) 出願書類（調査書）の活用方法の変更

- ・ 一般選抜（前期・後期）の個別学力検査等の出題教科・科目等では、新たに「出願書類（調査書）」を点数化します。

農学部

(1) 出願書類（調査書、活動報告書）の活用方法の変更

- ・ 一般選抜（前期）の個別学力検査等の出題教科・科目等では、新たに「出願書類（調査書）」を点数化します。
- ・ 一般選抜（後期）の個別学力検査等の出題教科・科目等の「面接」では、新たに「出願書類（調査書）」を含めて評価します。
- ・ 総合型選抜Ⅱの個別学力検査等の出題教科・科目等の「出願書類（志望理由書、志願者評価書、調査書）」に、新たに「出願書類（活動報告書）」を加え、「出願書類（志望理由書、志願者評価書、調査書、活動報告書）」を点数化します。
- ・ 学校推薦型選抜ⅠA（普通科又は理数に関する学科対象）、学校推薦型選抜ⅠB（専門教育を主とする学科又は総合学科対象）の個別学力検査等の出題教科・科目等の「面接」では、「出願書類（推薦書、調査書）」に、新たに「出願書類（活動報告書）」を加え、「出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）」を含めて評価します。

● アドミッションポリシー

各学部のアドミッションポリシーは、本学ホームページの「入試情報」サイトに掲載しています。

● 選考方法の趣旨

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜に係る選考方法の趣旨は、本学ホームページの「入試情報」サイトに掲載しています。

出願書類（推薦書・活動調書）の見本【様式のサイズはA 4 判】

(見本)

令和 年 月 日

推薦書

愛媛大学長 殿

学校名 _____

学校長名 _____

フリガナ _____

生徒氏名 _____

志望学部 _____

志望する学科等 _____

学部 _____

学科・課程 _____

コース _____

サブコース _____

記載責任者名 _____

記

推薦理由等（学生募集要項の「推薦書記入上の注意」を参照してください。）

下記の者は、貴学校推薦型選抜の要件等に該当し、入学を許可される者として適当であると思われるので、責任を持って推薦します。

(見本)

記入年月日 令和 年 月 日

活動調書

ふりがな _____

氏名 _____

(☐男 ☐女) 生年月日 (昭和・平成) 年 月 日生

本様式に従い、A4判片面1枚で、本人が作成してください。(手書き・パソコンのいずれでも可)

＜学習歴、スポーツ等の競技歴、文化的・社会的活動、海外経験（国名・目的含む）等を箇条書きで記入してください。いずれの活動についても、おおまかな期間を明記してください。＞

中学卒業後の主な活動等

取得資格・検定等

備考

＜名称、級・スコア、実施団体等、取得年月は証明書類等を参照して記入してください。＞

＜上記の項目に該当しない内容で特筆すべき点があれば記入してください。＞

※記載内容について大学から問い合わせる場合があります。
出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

出願書類（活動報告書）の見本【様式のサイズはA 4 判】

（ 見 本 ）

受験番号	
------	--

活動報告書【A：意欲的に取り組んだ活動】

フリガナ氏名	
志望する学部・学科 課程・コース等	

1. 活動名

2. 活動内容

3. 活動期間	
4. 参考資料	

(注) 活動報告書「A：意欲的に取り組んだ活動」の2件目、3件目の様式は1件目と同一のため、省略。

（ 見 本 ）

受験番号	
------	--

活動報告書【B：課題研究等】

フリガナ氏名	
志望する学部・学科 課程・コース等	

1. 課題研究等のテーマ（題名）

2. テーマを選んだ理由

3. 課題研究等の概要や成果

4. 研究を行った人数	
5. 実施期間	
6. 補足（授与された賞、グループ研究における役割、感想など）	

7. 問合せ先（指導教員名）	
----------------	--

（ 見 本 ）

受験番号	
------	--

活動報告書【C：資格・検定等】

フリガナ氏名	
志望する学部・学科 課程・コース等	

英語に関する資格・検定

1.	資格・検定・試験等の名称	級・スコア等	取得等の年月
1			
2			
3			

英語以外に関する資格・検定

1.	資格・検定・試験等の名称	級・スコア等	取得等の年月
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			